

都市再生整備計画事業 事後評価シート

関市東部市街地地区

令和2年1月

岐阜県 関市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	関市		地区名	関市東部市街地地区			面積	188ha			
交付期間	H27 ～ H31年度		事後評価実施時期	R1年度(H31年度)		交付対象事業費	745		国費率	0.328				
1)事業の実施状況	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	(公園)平賀第一公園、(高次都市施設(地域交流センター))富岡ふれあいセンター											
		提案事業	(地域創造支援事業)【平賀第一】環境保全水路整備											
		事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画 から 削除した 事業	基幹事業	—											
		提案事業	—											
	新たに追加 した事業	基幹事業	—											
		提案事業	—											
	交付期間 の変更	当 初	H27 ～ H31		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響									
変 更		なし												
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指 標		単位	従前値	目標値	数 値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)			フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み					
	指標1	地区内居住人口	人	5,359	H25	5,485	H31		5,261	×	あり なし	●	土地区画整理事業が現在実施中であり、また整備済み区域において人口微減となっているため、計画地区全体の人口の増加には至ってはいない。	R2年8月
	指標2	地域交流センターの利用者数	人/年	0	H26	5,940	H31		10,025	○	あり なし		目標値以上の利用者数となった。新規開設の富岡ふれあいセンターが地区住民に好評である他、周辺直近の計画事業進展により、同センターへの来訪がスムーズとなり、環境が格段に良好となっていることが効果発現に繋がっている。	R2年8月
指標3	まちづくり活動団体数	団体	2	H26	3	H31		3	○	あり なし		富岡ふれあいまちづくり委員会が、既にH30年9月開館とともに関市指定管理者として富岡ふれあいセンターの維持管理及び運営にあたっており、施設の有効活用が促進され地域住民の交流が活性化された。	—	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値	目標値	数 値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)			フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み					
	その他の 数値指標1	地区の世帯数増加指数 (H20＝100)	%	108.6	H25				113.8				各種計画事業の実施により基盤整備が進展し、住環境が改善され、東部市街地地区は人口は減少したものの、世帯数が関市全体よりも増加した。特に、計画事業が集中する区域の世帯数の増加が顕著であり、計画事業が効果を発現した。	R2年8月
	その他の 数値指標2												—	
その他の 数値指標3												—		
4)定性的な効果 発現状況	まちづくりアンケート調査(令和元年11月実施)の結果、都市再生整備事業、関連する区画整理事業・道路事業の実施により、過半の住民が住環境の改善を実感していることが分かり、効果が発現している状況が確認できた。													
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等					
	モニタリング		—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加 プロセス		・ 土地区画整理事業と環境保全水路整備に関する環境教育 ・ 富岡ふれあいセンター建設委員会等による富岡ふれあいセンター建設地及び施設計画への住民意向の反映			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			引き続き、土地区画整理事業、道路事業等の実施に際しても、自然環境との共生について、可能な限り機会を捉えて住民、児童の意識醸成を図る。					
	持続的なまちづくり 体制の構築		平成30年7月、富岡ふれあいセンター指定管理者に富岡ふれあいまちづくり委員会を指定			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			富岡ふれあいまちづくり委員会による維持管理及び運営を続行し、住民の交流が活性化するよう運営の充実を図る。					

様式2-2 地区の概要

関市東部市街地地区(岐阜県関市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：快適で安全・安心な暮らしを実現する自然と共生するまちづくり ・目標1：市民が快適で安全に過ごせる地域環境の創出 ・目標2：豊かな自然環境を活かした良好な居住空間の形成 ・目標3：地域の活力を生み出すコミュニティ拠点の確保		地区内居住人口	単位：人	5,359	H25	5,485	H31	5,261	H31
		地域交流センターの利用者数	単位：人/年	0	H26	5,940	H31	10,025	H31
		まちづくり活動団体数	単位：団体	2	H26	3	H31	3	H31

□提案事業：地域創造支援事業
【平賀第一】環境保全水路整備
平賀第一土地区画整理事業区域内



○関連事業
平賀第一地区 土地区画整理事業
【平賀第一】土地区画整理事業補助
平賀第一土地区画整理事業区域内

■基幹事業：公園
平賀第一公園



■基幹事業：高次都市施設
(地域交流センター)
富岡ふれあいセンター

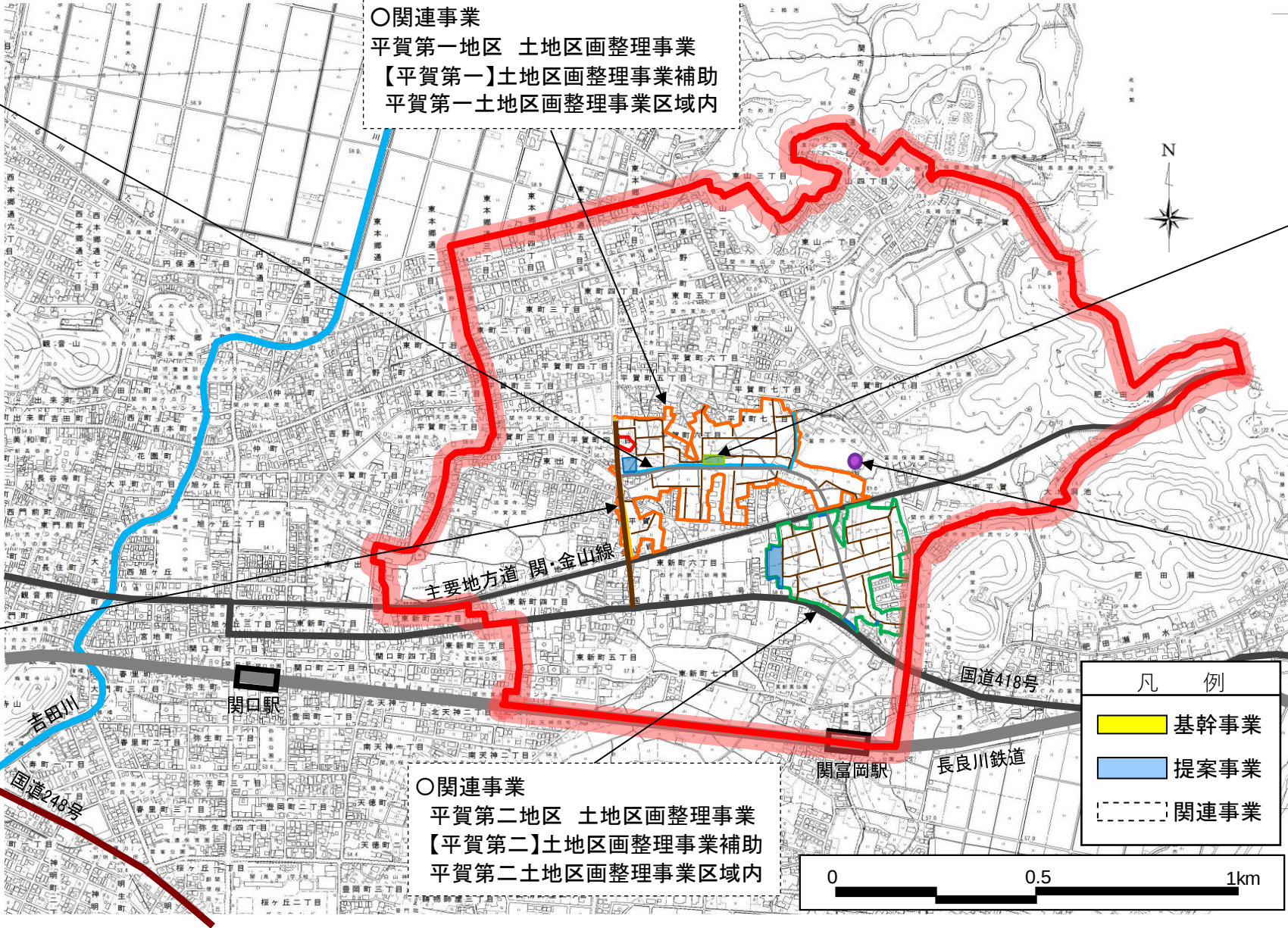


○関連事業
(都)東本郷鋳物師屋線



○関連事業
平賀第二地区 土地区画整理事業
【平賀第二】土地区画整理事業補助
平賀第二土地区画整理事業区域内

凡例
■基幹事業
■提案事業
--- 関連事業



まちの課題の変化	・環境保全水路整備に関する環境教育の主催者に都市整備課が記載されているが、現在関市の担当は都市計画課であるため修正をするべきという意見があった。(添付様式3-②) → ・貝の移植に携わっているため施工業者の記載を検討するべきであるという意見があった。(添付資料3-②) ・富岡ふれあいまちづくり委員会は地域団体の各代表者で構成されているため、表現を再度検討する必要があるという意見があった。(添付様式3-③)
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	■効果を持続させるための方策 ①生活環境：引き続き、平賀第一・第二区画整理事業、(都)東本郷鋳物師屋線整備を推進すると共に、民間住宅建設を活性化する。 ②自然環境との共生：住民による整備施設維持管理や自然環境を大切にし触れ合う住民活動等関係活動団体と連携を図り意識の醸成を図る。 ③地域住民交流、活動の場：富岡ふれあいセンター利用者による運営面への意見意向を把握し、維持運営の充実を図る。 ■改善策 区画整理等実施済み区域の住環境整備：基盤整備完了地区であるが、安全・安心や魅力向上に関する住民意識に配慮し、将来へ向けた住環境課題を把握していく。

まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

・環境保全水路整備に関する環境教育の主催者に都市整備課が記載されているが、現在関市の担当は都市計画課であるため修正をするべきという意見があった。(添付様式3-②)

→

・貝の移植に携わっているため施工業者の記載を検討するべきであるという意見があった。(添付資料3-②)

・富岡ふれあいまちづくり委員会は地域団体の各代表者で構成されているため、表現を再度検討する必要があるという意見があった。(添付様式3-③)

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

		変更		変更前	変更後	変更理由
		あり	なし			
A. まちづくりの目標			●			
B. 目標を定量化する指標			●			
C. 目標値			●			
D. その他(事業期間の延伸)	平賀第一公園の 事業期間	●		(当初計画)事業期間H29～H30	(第1回変更)事業期間H29～H31	平賀第一土地区画整理事業区域内での各工事進捗状況からH30年度内の完了が見込めないため。

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する 指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
公園	平賀第一公園	30.0	1,300㎡	21.0	1,300㎡	公園内の設置遊具の見直しによる事業費の減	影響はない		●
高次都市施設 (地域交流センター)	富岡ふれあいセンター	510.0	1,000㎡	419.0	1,000㎡	事業費精査及び地元調整による平面計画変更による事業費の減	影響はない	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する 指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	【平賀第一】環境保全水路整備	255.0	L=573.1m	300.0	L=573.1m	屈曲部特注製品箇所が増え 事業費が増	影響はない	●	
事業活用調査	事業効果分析	5.0	事後評価に必要となる目標・成果の達成状況の調査	5.0	事後評価に必要となる目標・成果の達成状況の調査	変更無し	—		●

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
土地区画整理事業		平賀第一地区	985.0	985.0	H24 ～ H31	H24 ～ H31	令和4年度完了予定	平賀第一土地区画整理組合、国土交通省
土地区画整理事業		平賀第二地区	626.0	626.0	H26 ～ H32	H26 ～ H32	令和4年度完了予定	(仮)平賀第二土地区画整理組合、国土交通省
【平賀第一】土地区画整理事業補助		平賀第一土地区画整理事業	91.5	91.5	H27 ～ H30	H27 ～ H30	令和4年度完了予定	関市、国土交通省
【平賀第二】土地区画整理事業補助		平賀第二土地区画整理事業	61.7	81.7	H27 ～ H31	H27 ～ H31	令和4年度完了予定	関市、国土交通省
道路		(都)東本郷鋳物師屋線	605.0	605.0	H25 ～ H30	H25 ～ H30	令和2年度完了予定	関市、国土交通省

添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無	
															あり	なし
指標1	地区内居住人口	人	各年度の4月1日現在の住民基本台帳に基づいた計画区域内の居住人口を算出する。	5,238	H20	5,359	H25	5,485	H31	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定見込み ●	5,261	事後評価	×		
指標2	地域交流センターの利用者数	人/年	計画により新設する富岡ふれあいセンターの利用者数を算出する。			0	H26	5,940	H31	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み ●	10,025	事後評価	○		
指標3	まちづくり活動団体数	・環境保全水路整備に関する環境	計画区域内で活動するまちづくり活動団体数を算出する。			2	H26	3	H31	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み ●	3	事後評価	○		

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	H25年度以降、区画整理等整備済み区域で人口微減からさらに減少が進んだ。また、未整備区域で保留地販売により人口が増加を維持し続けると見込んでいたが、微減に転じた。これより、地区全体として、増加を見込んだ目標値に対して、減少傾向の評価値となった。	未整備区域における保留地処分の事業速度を想定することは困難な面があり、結果的に期待どおりに進んでいないため、今後の課題である。
指標2	H31(R元)年度4月～8月の5カ月で月平均835人の利用者数が続いた。これより、H31(R元)9月以降、月平均835人として見込むと、目標値を超える利用者数が予測されるため。	
指標3	富岡ふれあいまちづくり委員会が、計画期間終了以降に活動することがほぼ確定的である。これにより、活動団体数は3団体となることが確実である。	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。――

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
					基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	地区の世帯数増加指 数	%	H20世帯数＝100とする各年の増 加指数	100	H20	108.6	H25	モニタリン グ			住環境の改善を示す指標である 指標1が目標を達成しなかったが、事業実施が住環境を改 善し、本地区が住宅地として伸 びていることを確認するため。	
								事後評価	確定 見込み ●	113.8		
その他の 数値指標2								モニタリン グ				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3								モニタリン グ				
								事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

東部市街地地区のまちづくりに関するアンケート調査を実施し、現状や整備効果について意見を伺いました。 【実施時期】 令和元年11月 【対象者(有効回答数)】 自治会長・区画整理組合役員(22人)、富岡小学校教員(26人)、ふれあいセンター利用団体・地元役員(111人) (計159人) 【集計結果】 回答数に占める「そう思う」「ややそう思う」合計の割合 問1.富岡ふれあいセンターが整備されどのような変化を実感しますか ①様々な人と交流する気概が増えた 71.7%、②地域がにぎわい活性化している 66.0%、③駐車場ができて便利になった 84.9% 問2.環境保全水路が整備されどのような変化を実感・期待しますか ①植物や生き物によい環境ができる 58.5%、②水と緑の景観がよくなる 61.1%、③水遊びや親水を楽しめるようになる 56.0% 問3.区画整理が実施されどのような変化を実感・期待しますか ①道路が広くなり通勤・通学や買い物などが安全で便利になる 85.5%、②整った街並みや緑が増えて住環境がよくなる 71.7%、③住む人が増えてまちに活気が生まれる 70.4% 【効果発現のまとめ】 都市再生整備事業、関連する区画整理事業・道路事業の実施により、過半の住民が住環境の改善を実感していることが分かり、効果が発現している状況が確認できた。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3－① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

・環

添付様式3－② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
土地地区画整理事業と環境保全水路整備に関する環境教育	予定どおり実施した	○実施頻度・実施時期 【活動:その1 平賀第一土地地区画整理事業内小学生環境調査】 ・小学生による絶滅危惧種等調査: 富岡小学校4年生2クラス～3クラス、77～88名(年度により異なる) ・主催者・協力: (主催)富岡小学校、(協力)特定非営利活動法人 ふるさと自然再生研究所、独立行政法人土木研究所自然共生センター、公益社団法人 岐阜県都市整備協会、関市都市整備課(現都市計画課)、施工業者 ・開催時期: 平成25年9月～平成27年10月、計3回 【活動:その2: 小学生への出前講座「みんなでつくる『まちづくり』」】 ・小学4年生対象の小学校内出前講座: 富岡小学校4年生3クラス83名 ・主催者・協力: (主催)富岡小学校、(協力)公益社団法人 岐阜県都市整備協会、関市都市整備課(現都市計画課)、施工業者 ・開催時期: 平成28年5月12日 【活動:その3: 貝の移殖活動】 ・貴重な野生生物の保護を推進 ・開催時期:平成25年10月～平成29年4月、計5回 ・主催者・協力:(主催)関市都市整備課(現都市計画課)、(協力)特定非営利活動法人ふるさと自然再生研究会、施工業者、平賀第一土地地区画整理組合員、公益社団法人 岐阜県都市整備協会 ○実施結果 ・平賀第一土地地区画整理事業地内に絶滅危惧種の貝が生息している等を児童に学習して貰い、自然環境の大切さを学んで貰うことができた。 ・土地地区画整理事業や環境水路整備にあたり、貝の移殖をしながら整備を進めていることを理解して貰い、また住民がまちづくりに参加する意識の醸成が図られた。	引き続き、土地地区画整理事業、道路事業等の実施に際しても、自然環境との共生について、可能な限り機会を捉えて、住民、児童の意識醸成を図る。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
富岡ふれあいセンター建設委員会等による住民意向の反映	予定どおり実施した	○実施頻度・実施時期 ・ 同建設委員会開催 計5回、H23年3月～H28年10月 ・ PTA保護者説明会 1回、H28年5月17日 ○実施結果 地元自治組織からなる富岡ふれあいセンター建設委員会の参加により、建設用地及び施設計画について住民意向を反映できた。	
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			i . 体制構築に向けた取組内容	ii . まちづくり組織名・組織の概要	
指定管理者富岡ふれあいまちづくり委員会 による富岡ふれあいセンター維持管理及び運営	予定どおり実施した		● 平成30年7月1日、富岡ふれあいセンター指定管理者に富岡ふれあいまちづくり委員会を指定	富岡ふれあいまちづくり委員会 (組織構成) 関市自治会連合会富岡支部、東部地区民生委員児童委員協議会、とみおか青少年育成協議会、関市社会福祉協議会富岡支部、中濃地区交通安全協会富岡支部、富岡自主防犯パトの会などの代表者により構成。 (活動開始時期) 平成28年2月 (指定管理者業務内容) (1)センターの維持管理業務 (2)センターの使用許可及び制限に関する業務 (3)センターの運営に関する業務 (4)センターの使用に係る利用料金の収納等に関する業務 (5)(1)～(4)に掲げるもののほか、関市又は指定管理者が必要と認める業務等	引き続き、富岡ふれあいまちづくり委員会による維持管理及び運営を続行し、住民の交流が活性化するように運営の充実を図る。
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由)				

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
関市東部市街地地区 都市再生整備計画事後評価庁内検討会議	市民協働課 都市計画課	令和元年12月18日	都市計画課

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別			指標2		指標3		その他指標1		指標	
指 標 名			地域交流センターの利用者数		まちづくり活動団体数		地区の世帯数増加指数			
種別	事業名・箇所名		指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見
基幹事業	公園	平賀第一公園	○	地域交流センター「富岡ふれあいセンター」が新設され既に利用開始され、目標値以上の利用者数となった。 新規開設の富岡ふれあいセンターが地区住民に好評である他、周辺直近の計画事業進展により、同センターへの来訪がスムーズとなり、環境が格段に良好となっていることが効果発現に繋がっている。	○	富岡ふれあいまちづくり委員会が、既にH30年9月開館とともに関市指定管理者として富岡ふれあいセンターの維持管理及び運営にあたっており、施設の有効活用が促進され地域住民の交流が活性化された。	◎	各種計画事業の実施により基盤整備が進展し、住環境が改善され、東部市街地地区は人口は減少したものの、世帯数が関市全体よりも増加した。特に、計画事業が集中する区域の世帯数の増加が顕著であり、計画事業が効果を発現した。		
	高次都市施設(地域交流センター)	富岡ふれあいセンター	◎		◎		◎			
提案事業	地域創造支援事業	【平賀第一】環境保全水路整備	○		○		◎			
	事業活用調査	事業効果分析	－		－		－			
関連事業	土地地区画整理事業	平賀第一地区	○		○		○			
	土地地区画整理事業	平賀第二地区	○		○		○			
	【平賀第一】土地地区画整理事業補助	平賀第一土地地区画整理事業	○		○		○			
	【平賀第二】土地地区画整理事業補助	平賀第二土地地区画整理事業	○		○		○			
	道路	(都)東本郷鋳物師屋線	○		○		◎			

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- －：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	計画事業が相互に直近位置である場合、地区住民の目に改善が顕著に理解されることが分かった。 今後の計画、他の地区においても、この点に配慮した計画としていくことが考えられる。	他の地区においても、基盤整備事業の実施は当然として、整備後の持続的なまちづくり体制構築を含めることに配慮することが考えられる。	高齢社会の下での人口は自然減を含むため、土地地区画整理事業地では、転入の具合が推し測られる世帯数増減の方がよりの確に事業効果を把握できる。 市全体の人口動向との相対的な地区人口増減や若年層の地区人口の増減などを活用するように検討したい。	
-------	--	---	---	--

添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別			指標1											
指 標 名			地区内居住者数											
種別	事業名・箇所名		目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類
基幹事業	公園	平賀第一公園	△	土地区画整理事業が現在実施中であり、また整備済み区域において人口微減となっているため、計画地区全体の人口の増加には至ってはいない。	Ⅲ Ⅳ									
	高次都市施設(地域交流センター)	富岡ふれあいセンター	△											
提案事業	地域創造支援事業	【平賀第一】環境保全水路整備	△											
	事業活用調査	事業効果分析	－											
関連事業	土地区画整理事業	平賀第一地区	△											
	土地区画整理事業	平賀第二地区	△											
	【平賀第一】土地区画整理事業補助	平賀第一土地区画整理事業	△											
	【平賀第二】土地区画整理事業補助	平賀第二土地区画整理事業	△											
	道路	(都)東本郷鑄物師屋線	△											

※目標未達成への影響度
××：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

今後の活用	高齢社会の下の人口は自然減を含むため、土地区画整理事業地では、転入の具合が推し測られる世帯数増減の方がよりの確に事業効果を把握できる。 市全体の人口動向との相対的な地区人口増減や若年層の地区人口の増減などを活用するように検討したい。			
-------	---	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討会メンバー	実施時期	担当部署
関市東部市街地地区 都市再生整備計画事後評価庁内 検討会議	市民協働課 都市計画課	令和元年12月18日	都市計画課

添付様式5－② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
①安全・安心で快適な生活環 境の確保による人口定着	未整備区域で生活環境が改善された。(地区居住者数 は目標に達しなかったが、従前よりも世帯数が増加し、 また関市全体世帯数よりも増加割合が大きかった)	未整備区域の早期整備を進めるとともに、区画整理済み区域の 人口減少を食い止めるための住環境を整備する。	
②多様な生物が生息する環境 を活かした、地域の魅力向上	絶滅危惧種の貝を移殖し、環境保全水路を整備したこと によって、自然環境と共生する住環境とすることができ、 地域の魅力を向上させた。	－	
③地域住民の交流、活動の場 の整備による、拠点機能の確 保・充実	富岡ふれあいセンターが、既に富岡地区の交流・活動の 場として利用されている等、拠点機能を確保できた。	－	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方
策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を
添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	未整備区域で改善された生活環境	引き続き、平賀第一及び平賀第二区画整理事業、(都)東本郷鋳物師屋線整備を推進すると共に、民間住宅建設を活性化する。	平賀第一土地区画整理事業 平賀第二土地区画整理事業 (都)東本郷鋳物師屋線 岐阜県住宅資金助成制度のPR SEKI ラ・ラ・ライフ応援金
	自然環境と共生する住環境	引き続き、住民による整備施設維持管理や、自然環境を大切にし触れ合う住民活動に関し、関係活動団体と連携し意識の醸成を図る。	
	地域住民交流、活動の場の確保	富岡ふれあいセンター利用者による運営面への意見意向を把握し、維持運営の充実を図る。	

B欄 改 善 策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	未整備区域の整備及び区画整理等実施済み区域の住環境整備	基盤整備完了地区であるが、安全・安心や魅力度向上に関する住民意識に配慮し、将来へ向けた住環境課題を把握していく。	・ 富岡ふれあいまちづくり委員会等住民団体からの意見聴取等 (富岡まちづくりアンケート結果「地域別にみる暮らしづらい理由第1位、第2位」より:H26年11月、とみおか地域委員会設立準備会による調査) ・道路などの整備 ・買い物など日常生活の不便さ軽減 ・公共交通の不便さ軽減
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5ー③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4ー②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4ー③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5ー②)を再確認した。

添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・県道からふれあいセンターにアクセスする際の車利用の安全確保について課題が残るため、今後も施設周辺の整備について検討をする。 ・伊岐神社付近から東山の交差点付近までの歩道整備の検討を今後も進める。 ・環境保全水路の整備について、絶滅危惧種の貝の移植のみならず、今後の管理体制について検討する。 ・今後まちづくりを実施していく中で自治会や消防団などのコミュニティの役割がまとまっていない状況であるため、行政の立場で実施する活動について検討をする。 ・平賀第三地区、及び第四地区の土地区画整理事業について検討を進める。 ・ふれあいセンターの減免によって利用が増える反面、市内にある他のセンターの利用が減ってしまうことは避けたいため、他のセンター利用への配慮やセンター同士の連携について検討する。
--

・フローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標			単位	従前値	年度	目標値	年度	評価値		目標 達成度	1年以内の 達成見込みの有無	フォローアップ計画			
												予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	地区内居住人口	人	5,359	H25	5,485	H31	確定		5,261	×	あり	→	R2年8月	評価値計測と同方法による町丁目人口の計測	
							見込み	●			なし				
指標2	地域交流センターの利用者数	人	0	H26	5,940	H31	確定		10,025	○	あり	→	R2年8月	評価値計測と同方法による月別利用者数の計測	
							見込み	●			なし				
指標3	まちづくり活動団体数	団体	2	H26	3	H31	確定	●	3	○	あり	→			
							見込み				なし				

その他の 数値指標1	地区の世帯数増加指数	%	108.6	H25		確定		113.8			→	R2年8月	評価値計測と同方法による町丁目世帯数の計測	
						見込み	●							
その他の 数値指標2						確定					→			
						見込み								
その他の 数値指標3						確定					→			
						見込み								

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	指標2地域交流センター利用者数、指標3まちづくり活動団体数は、成果を達成した。	人口増減指標は、総合的指標である反面、住環境だけでなく、社会経済的動向も大きな要因であることを念頭に、目標値を慎重に検討する。
	うまくいかなかった点	指標1地区内居住人口目標値のうち、区画整理等実施済み区域及び未整備区域のいずれにおいても、想定どおりの成果をあげることが出来なかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	その他指標1により、地区の世帯数の増加が関市全体世帯数の増加よりも大きいことにより、地区が住宅地としての受け皿となっていることを確認できた。	区画整理の保留地販売は実行されれば大きな人口・世帯数増を実現出来る。販売時期について見通しを慎重に検討する。
	うまくいかなかった点	指標1地区内居住人口目標値のうち未整備区域において保留地販売数を想定し根拠としたが、想定した販売は計画期間以降であるため、計画期間内で効果発現しなかった。また土地区画整理等実施済み区域に対しては、基幹事業と提案事業の位置が計画地区において偏在したため効果が波及しなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・富岡小学校の積極的な環境教育により、児童が区画整理地内の希少価値ある貝の移殖を学び、また自然環境に配慮した区画整理事業等について理解を深めることが出来、住民参加まちづくりの意識を醸成することができた。 ・地域自治組織からなるふれあいセンター建設委員会の活動により、計画に住民意向を反映することができた。	自然環境と共生する生活環境のための基盤整備は、将来とも重視する必要がある、これからも地区特性や機会を捉えて取り組む。 また、地元自治組織からの意向反映を今後とも可能な限り進めていく。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	横断的な庁内検討会議の事後評価により、基盤整備だけでなく整備した富岡ふれあいセンターの利用状況、環境保全意識の醸成状況等を併せて把握でき、複数所管課により共通認識を共有できた。	市民利用の拠点施設整備を計画に含む場合、当該施設管理運営所管課との相互連絡を図りつつ、事業を進める。
	うまくいかなかった点	・環境保全水路整備に関する環境教育の主催者に都市整備課が記載されているが、現在関市の担当は都市計画課であるため修正をするべきという意見があった。(添付様式3-②) → ・貝の移殖に携わっているため施工業者の記載を検討するべきであるという意見があった。(添付資料3-②) ・富岡ふれあいまちづくり委員会は地域団体の各代表者で構成されているため、表現を再度検討する必要があるという意見があった。(添付様式3-③)	
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・ 中央二期地区

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和2年1月6日～20日	令和2年1月6日～20日	都市計画課への郵送、FAX、電子メールまたは窓口への持参	都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	都市計画課窓口(土日祝日除く)にて閲覧	令和2年1月6日～20日	令和2年1月6日～20日		
住民の意見	意見なし				

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 都市再生整備計画事業評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	藪下武司(学校法人中部学院大学 教授)	令和2年1月28日	都市計画課	関市都市再生整備計画事業評価委員会規則	独自に設置
その他の委員	遠藤俊三(関市自治会連合会 会長) 栗山哲臣(関市平賀第一区画整理組合 理事長)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・特になし。
	実施過程の評価	・環境保全水路整備に関する環境教育の主催者に都市整備課が記載されているが、現在関市の担当は都市計画課であるため修正をするべきという意見があった。 →関市の担当課の名称が変更されているため、「(現都市計画課)」を追記した。(添付様式3-②の文章を修正) ・貝の移植に携わっている施工業者の記載を検討するべきであるという意見があった。 →主催者、協力に「施工業者」を追記した。(添付様式3-②の文章を修正) ・富岡ふれあいまちづくり委員会は地域団体の各代表者で構成されているため、記載されている表現を再度検討する必要があるという意見があった。 →富岡ふれあいまちづくり委員会の構成メンバーを考慮し、文言を修正した。(添付様式3-③の文章を修正)
	効果発現要因の整理	・目標未達成の指標1「地区内居住人口」の代替えとして採用したその他指標「地区の世帯数増加指数」の総合所見の書き方について、厳しいという意見があった。 ・現在進行形で整備が行われている事業について整備を終えた結果、評価が低い表現に見えるという意見があった。 →総合所見を「土地地区画整理事業が現在実施中であり、また整備済み区域において人口微減となっているため、計画地区全体の人口の増加には至ってはいない。」に修正した。(様式2-1、添付様式4-③の文章を修正) ・指標について、地区内居住者人口は減ったとしても、年齢別に検証をすることで事業の評価ができないかという意見があった。 →今後の活用に「若年層の地区人口の増減などを活用するように検討したい」を追記した。(添付様式4-②、添付様式4-③の文章を修正)
	事後評価原案の公表の妥当 その他	・事後評価原案の公表は妥当であると認められた。 ・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当に進められたと認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	①ふれあいセンターの立地や駐車場の環境は利用者にとって良い評価を得ている反面、県道からのアクセス時の車利用の安全確保の課題が残るという意見があった。 ②伊岐神社付近から東山の交差点付近までの歩道整備について検討を進めてほしいという意見があった。 →①、②について、今後の東部市街地地区の事業を進める中で、しっかりと対応していく。(添付様式5-参考記述に反映) ③絶滅危惧種の貝を移植し、環境保全水路を整備したが、今後の管理体制について検討する必要があるという意見があった。 ④今後まちづくりを実施していく中で自治会や消防団などのコミュニティの役割がまとまっていない状況である。 →③、④について、今後のまちづくりに対する意見として、活かしていく。(添付様式5-参考記述に反映) ⑤平賀第三地区、及び第四地区の区画整理についても検討を進めてほしい。 →庁内でも平賀第三地区、及び第四地区の区画整理の話は検討しているところであり、今後の課題としたい。(添付様式5-参考記述に反映) ⑥ふれあいセンターの減免によって利用者が増える反面、市内にある他のセンターの利用が減ってしまうことは避けたい。 →ふれあいセンターのみならず、他のセンター利用への配慮やセンター同士の連携について検討したいと思う。(添付様式5-参考記述に反映)
	フォローアップ	・フォローアップ計画は妥当であると認められた。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他		・特になし。